

2. 報告事項

(2) 農林産物加工センター

・作業スケジュール

4月から笹加工と平行して、メロン加工を行い、「ダイエー」お中元用メロンゼリーの梱包作業を開始。6月から大手菓子メーカー「モリモト」が販売先となるトマトの受託加工が始まり、1日2tの果汁を製造している。

・平成22年7月末の製造量

笹加工 78万9,440枚

(前年97万4,600枚)

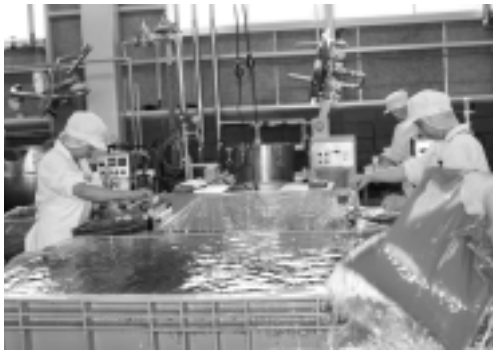
メロン果汁 8,193kg

(前年1万1,646kg)

トマト果汁

2万6,900kg

(前年1万9,350kg)



▷トマト果汁の製造作業

(1) 中学校校舎耐震補強大規模工事に伴う授業等の対応

・4月より授業に支障のない場所から工事を開始。8月20日までの夏休み期間中に1階から3階まで各教室の工事が完成した。今後、授業に支障がある場合は、空き教室などを利用して対応する。

・玄関の工事が今後実施される。その間、ふれあいホールへの渡り廊下を仮設玄関として使用する。体育館の工事は10月までの予定であるため、体育授業はスポーツセンターで2時間授業として行う予定。

・部活動は、バレー部は小学校体育館、バスケット部は農業高校体育館、卓球部は改善センター、剣道部は尚武館を各々利用する。

・学校祭は体育館完成後(10月)に、時期を遅らせて開催する。

・中学校野球部全国大会出場経費40万4千円を予備費から充用し支出した旨の報告を受けた。

(2) 平成22年度公共工事の進捗状況

・予算額

10億6,265万2千円

・発注済額

8億9,689万4千円

・発注予定件数

64件

・工事発注済件数

48件

・今後の発注予定件数

16件



▷工事が完了した南7号線

(3) 転作状況と麦の出荷状況

(8月11日現在)

・今年度の転作面積は714・75畝で、春秋小麦、そば、ミニトマトは作付けが増加しているものの、重点振興作物のメロン、アスパラ、長

ねぎは減少している。

・麦の受入状況

秋小麦 58万3,196kg

(10a当りの収量 314g)

春小麦 7万9,811kg

(10a当りの収量 70kg)

(4) 農産物ブランド化

①町農産物ブランド化推進会議は審査会を開催し、農産物3件に対しブランド産品として推進マークの貼付を認定した。

・推奨第1号

JAPINネ新十津川メロン部会(北川雅善部会長)

ノースランドメロン(赤肉)

ノーブルメロン(青肉)

・推奨第2号

清野正嗣氏(花月区)

トマト(桃太郎)

・推奨第3号

白石 学氏(花月区)

トマト(もも太郎ファイト)

②アンテナシッツ調査、研究事業

・JAPINネと本協議会が共催し、販売活動を展開する。8月27日から29日には、大阪や奈良県大和郡山市などで、特産物や観光、ブランド化商品をPRする予定。

③農産物販売所の開設

・JAPINネ女性部の協力により、産地直売朝市が毎週土曜日にJAPINネストア前で開催。店内にも常設「もぎたて市コーナー」を設けている。



▷推奨書交付式(7月9日)

(5) 割増商品券の利用状況

・販売期間

平成22年6月10日〜23日

・販売数 7万2,000枚

・発行額 3,000万円

(3,600万円分)

・利用人員 1,059人